

2024年に会津地方で発生した水稻の倒伏要因を 気象条件から解析しました

福島県農業総合センター 作物園芸部 稲作科

1 部門名

水稻－水稻－気象災害

2 担当者名

金澤優紀、新妻和敏、小森秀雄

3 要旨

2024年に会津地域で「コシヒカリ」を中心に広範囲で倒伏が発生し、問題となった。そこで、会津地域研究所で行った「コシヒカリ」の作柄解析試験データ及び気象データから要因を解析した。1) 草丈は、6月下旬以降平年より長く推移した。2) 7月上中旬の日照不足で第IV節間長が平年比114%、第V節間長が平年比151%となった。3) 稈質（わら重/穂数/稈長）は平年比91%で低かった。4) 出穂期以降にまとまった降雨が複数回あった。これらのことから、倒伏が拡大したと考えられた。

(1) 下位節間が伸長する穂首分化期～幼穂形成期（出穂20～30日前）の日照時間が平年と比べて短かった（図1）。

(2) 出穂期以降、10mm/日を超える降雨が複数回あった（図2）。

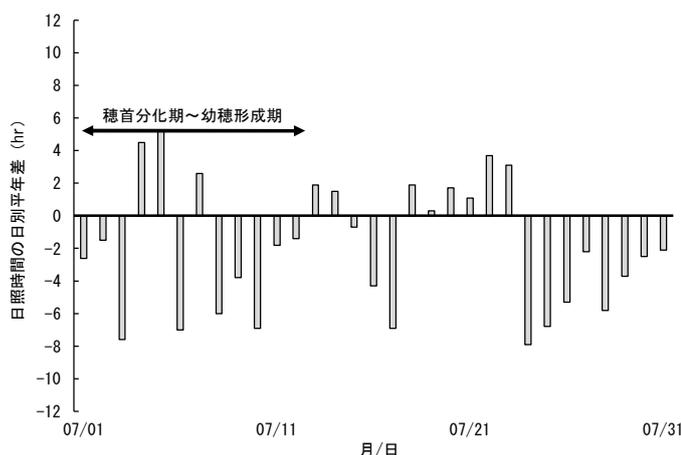


図1 日別日照時間の平年差の推移
(農業総合センター会津地域研究所(会津坂下町))

注1) 穂首分化期、幼穂形成期は作柄解析試験の「コシヒカリ」のデータ。

注2) 平年値は2019～2023年の平均値。

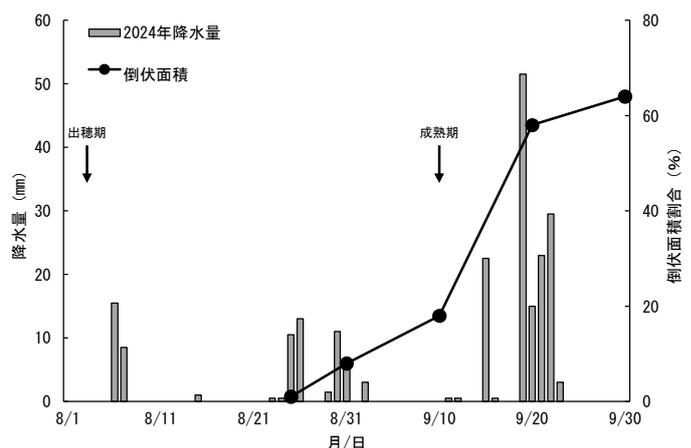


図2 日別降水量と倒伏面積割合の推移

注1) 降水量は会津地域研究所観測データ、倒伏面積割合は会津坂下農業普及所による調査データを使用した。

注2) 出穂期、成熟期は作柄解析試験の「コシヒカリ」のデータ。

注3) 倒伏面積は倒伏程度3～4の合計値。

4 成果を得た課題名

(1) 研究期間 令和3～7年度

(2) 研究課題名 水稻の作柄解析試験

5 主な参考文献・資料 なし